

花と木の実践養成教室

アサガオの育て方と
多肉植物の殖やし方

令和2年7月14日（火）

はじめに、アサガオについて説明します。アサガオはヒルガオ科の植物で、古くから親しまれ江戸時代には変化アサガオと呼ばれる機種の変わり咲きのアサガオを作り出されました。全国各地に独特な仕立て方を生み出し、現在に受け継がれています。



栽培条件としては、日当たりと風通しのよい場所を好みます。
水遣りは乾かし気味にします。
種まきは、発芽温度が20～25℃が良く 5月上旬頃が一般的で3～5日で発芽します。
栽培期間は、種まきから花が終わるまでが、60～80日と期間が短いです。

種まきのポイント

- ・発芽を揃えるために種を蒔く前夜から水に浸します。
- ・筋のある背の方を上にして腹の方を下にして蒔きます。
- ・種を蒔く用土の深さは6cm位が目安です。
- ・水遣いは土の表面が乾かない程度に控えめにします。
- ・用土は清潔な肥料分の少ない土を使います。

さまざまな仕立て方

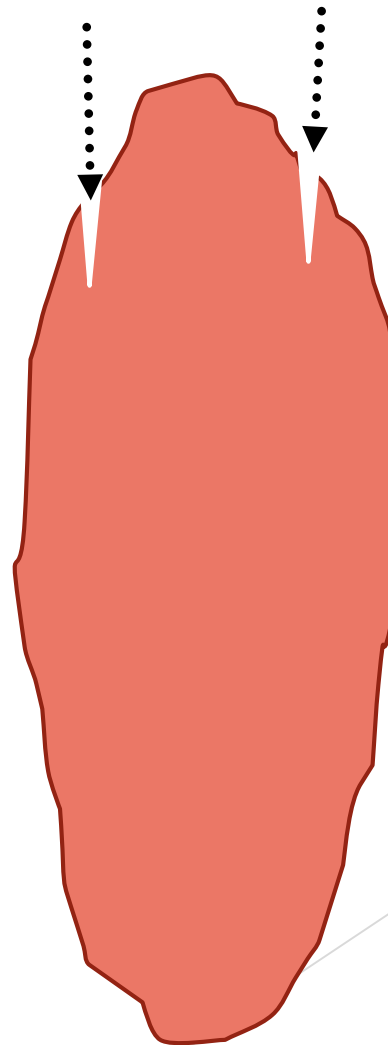
- ☆ラセンづくり:鉢に三本の支柱を立て、三段の針金の輪をかけて行灯(あんどん)のような形にしてアサガオの蔓を誘引するづくり方。
- ☆切り込みづくり:アサガオの蔓を切り詰めて盆栽風に仕立て、毎朝1~2花を咲かせるづくり方。
- ☆名古屋式盆栽切り込みづくり:切り込みづくりと同様大輪を咲かせるだけが目的ではなく、盆栽風で容姿に重点を置いたづくり方。
- ☆数咲きづくり:蔓を伸ばさずに蔓を切り詰めながら育て、5輪以上の花を揃えて咲かせるづくり方。

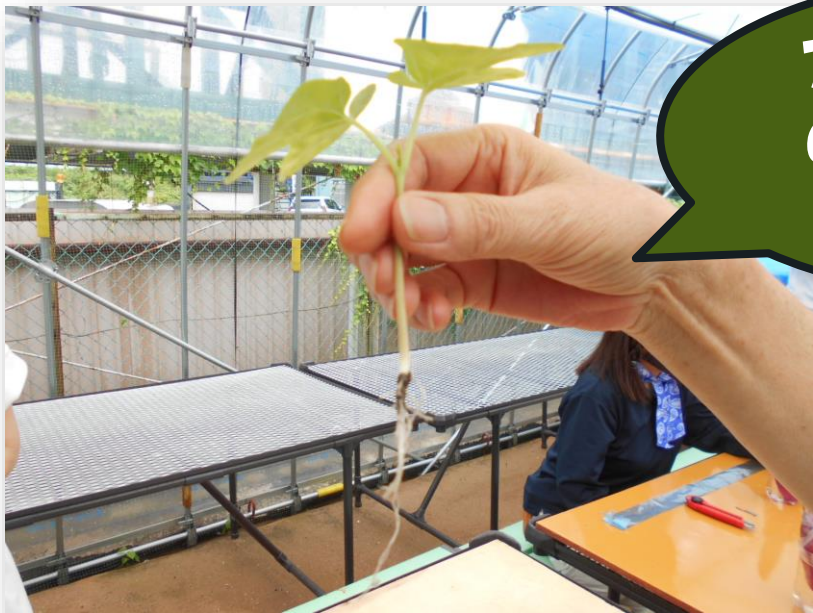
いもアサガオ？



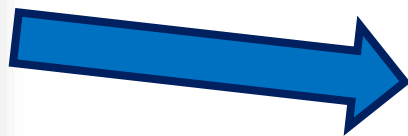
サツマイモにアサガオを接ぎ木で繋げた少し変わったつくり方です。花はアサガオと同じですが、鉢中を見るとサツマイモからアサガオが咲いているので面白いです。

サツマイモの両側を縦に薄く
1cmの切込みを入れます！

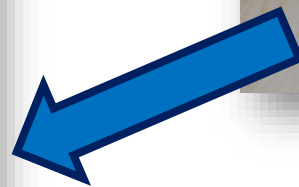




アサガオの根鉢
の土をきれいに
落とします。



根元の茎を両側
30度位の角度で
切り取ります。



挿し穂の
完成です。



切込みを入れたサツマイモにアサガオの接ぎ穂を差し込んで固定します。



完成です！

多肉植物

多肉植物が自生している場所は、湿度が低く乾燥していて、水はけが良く日当たりの良い所です。

屋外で育てる場合は、日当たりの良い雨の当たらない軒下で管理します。

屋内で育てる場合は、十分な日当たりがあれば大丈夫ですが、日照不足になると徒長してしまうので、1日に4時間以上は光が当たる場所を選びましょう。

多肉植物の代表的な殖やし方として「葉ざし」「挿し芽」「株分け」などの方法があります。時期としては、春か秋に行うと良いでしょう。

今回は、繁殖力がある「虹の玉」「フロンズ姫」の葉ざしを行います。

虹の玉です！



土は、赤玉土(小粒)とバーミキュライトを
同量に堆肥とクンタンをそれぞれ1割程度
配合します。

フロンズ姫の葉



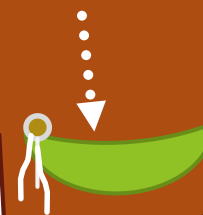
虹の玉の葉



成長点は、そのまま茎
を土の中に差し込みます。



葉は、そい返っている方から芽が出
るのでこのように1cm間隔で土の上
に置いて行きます。



水遣いは、1週間に1回たっぷり与えます。
1週間位で発根し、1ヶ月位したら芽が出てきます。

